２０１７年　定時社員総会　議事録

開催日時：平成２８年５月２２日（月）　１６時～１７時

会　　場：食糧会館（全米販）　５階　会議室　中央区日本橋小伝馬町 15-15

ＴＥＬ　０３－４３３４－２１５５

一般社団法人　日本飼料用米振興協会

一般社団法人　日本飼料用米振興協会

２０１７年　定時社員総会　議事録

開催日時　平成２９年５月２２日（月）　１６時１０分～１７時
会議場　　食糧会館（全米販）　５階　会議室　中央区日本橋小伝馬町 15-15
　　ＴＥＬ　０３－４３３４－２１５５

議決権のある社員総数　　２１個
　出席正社員（木徳神糧）
　出席正社員（シンジェンタジャパン）
　出席正社員（生活クラブ事業連合生活協同組合連合会）
　出席正社員（全国農業協同組合連合会）
　出席正社員（昭和産業）
　出席正社員（ＮＰＯ未来舎）
　出席正社員（中野区消団連）
　出席正社員（海老澤恵子）
　出席正社員（信岡誠治）
　出席正社員　岩野千草（中野区消費者団体連絡会・会員）
　出席正社員　谷井勇二（個人）
　出席正社員（若狭良治）

　正社員（中国工業）
　正社員（秋川牧園）
　正社員　木村牧場（個人）
　正社員　滋賀県飼料用米協議会（個人）
　正社員（羽賀郁子）
　正社員（谷　清司）
　正社員　菊地実
　正社員　吉瀬雅彦
　正社員（東京農業大学　谷口信和　個人）

　総社員の議決権の数　　２１個
　オブザーバー（傍聴）　１名（株式会社ゼンケイ　石澤直士）

【議　事】
１．開会挨拶と資格審査報告
　理事・事務局長　若狭良治は、２０１６年度　正社員数２１中、本人出席（１０）・委任状（２）で２０１７年５月２２日開会時現在、定足数満たしていることを報告した。
２．議長選出
　定款第 13 条～16 条の定めにより、代表理事　海老澤恵子が議長に就いた。
　議長は、出席を確認し、本定時総会が適法に成立したことで開会を宣言し、直ちに議事に入った。
３．議長挨拶
　海老澤恵子理事長「私たちの振興協会は、設立後、４年目に入り、昨年度の事業として、農林水産省と共同開催で「飼料用米収量日本一表彰」事業を実施しました。また、設立一年目より、「超多収穫米普及連絡会」以来の伝統を受け継ぎ、この３年間、通算８回目、９回目、今年の１０回目となる「飼料用米を活かす日本型循環畜産推進交流集会～飼料用米普及のためのシンポジウム２０１５，２０１６，２０１７～」を引き続き開催してまいりました。特に今年は「飼料用米多収日本一表彰式、飼料用米普及のためのシンポジウム２０１７」として新しいスタイルでの開催となりました。来年３月９日に、今年に引き続き、通算１１回目として「飼料

用米多収日本一表彰式、飼料用米普及のためのシンポジウム２０１８」を東京大学・弥生講堂で開催することで会場の確保を行っています。飼料用米については、様々な状況の下で、それなりに進んでおりますが、ＴＰＰやそれに発生する「主要農作物種子法廃止法」の急な採決（衆議院５時間、参議院３時間の審議）という状況もあり、日本の将来の食の安全や食料自給率の向上などの面で、問題が大きくなっております。そのような状況ですが、皆様と多くの課題について検討を加え、進んでいきたいと思います。これから皆様で審議決定していただく活動方針を高く掲げて、共に飼料用米の普及と食糧自給率の向上を目指してまいりたいと思います。本日はよろしくお願い申し上げます。」

第Ｉ議案　２０１６年度活動報告（２０１６年４月１日～２０１７年３月末）

１．　「飼料用米多収日本一表彰事業」を農林水産省政策統括官付穀物課と共同開催で開催した。
事業を推進するにあたり、全国農業協同組合中央会（全中）、全国農業協同組合連合会（全農）、協同組合日本飼料工業会に金銭面で多大なる後援をいただき、日本農業新聞からは表彰状、褒賞でご協力をいただいた。

２．　「飼料用多収獲米の栽培に関する研究」を全国農業協同組合連合会、東京農業大学農学部畜産学科畜産マネジメント教室、日本飼料湯米振興協会の三者で行った。オオナリ、関東飼２７１号。

３．　「コメ政策の今後の方向についての意見交換会」を２０１６年１１月１日、食糧会館、参加者５７名で開催した。

４．　「飼料用米多収日本一表彰式、飼料用米普及のためのシンポジウム２０１７」を２０１７年3月１７日に東京大学弥生講堂（一条ホール・ロビー・会議室）で開催した。
「シンポジウム、資料展示、試食会」を開催し、農林水産省生産局畜産部飼料課を通じて後援を受けた。
「表彰式」は農林水産省と共同開催を行った。参加者２６０名。

５．　２０１６年度の会員動向

事業体正社員

新たに株式会社秋川牧園、昭和産業株式会社が加入した。
事業組織としては、木徳神糧株式会社、生活クラブ事業連合生活脅威同組合連合会、中国工業株式会社、シンジェンタ・ジャパン株式会社、全国農業協同組合連合会と合せて７事業体となり、事業運営に資金的に厚みが増した。引き続き、新会員の拡大に努める。

非営利事業体正社員、個人正社員

中野区消費者団体連絡会、ＮＰＯ未来舎、木村牧場、東京農業大学畜産学部、（個人会員省略）

事業体賛助会員、非営利団体賛助会員

日本生活協同組合連合会、生活協同組合おかやまコープ、庄内みどり農業協同組合、株式会社平田牧場、栃木開拓農業協同組合、滋賀県飼料米利活用推進協議会、太陽工業株式会社
加美よつば農協は、賛助会員の希望が出ていたが、2017 年度からの登録とした。内部手続きの遅れによる。

６．　ホームページの内容については、農林水産省との共同事業の掲載などで、閲覧者が 6,000 代になった。
今後、わかりやすい掲載スタイルで一層の閲覧者の拡大を図りたい。

７．　特別報告「飼料用米多収日本一表彰式、飼料用米普及のためのシンポジウム２０１７」

農林水産省と共同開催で「飼料用米収量日本一　表彰事業」を実施し、通算 10 回目となる「飼料用米普及のためのシンポジウム」と共同開催で表彰式を開催した。

「表彰式とシンポジウム」は東京大学〈農学部〉弥生講堂（一条ホール、ロビー、会議室）で行った。

会場の確保では農学部鈴木宜弘教授のご尽力に感謝いたします。

参加者は、２６０名の盛会であった。

シンポジウムは農林水産省（生産局畜産部飼料課）から後援をいただくと同時に、表彰事業は農林水産省（政策統括官付穀物課）との共同事業となった。

シンポジウムでは基調講演に農林水産省の穀物課長、飼料課長、表彰式では、農林水産副大臣、政策統括官の出席を得て、また、全中、全農、協同組合飼料工業会、日本農業新聞の表彰状授与など華やかなものとなった。

併せて開催した試食会、資料展示会も弥生講堂のロビーや会議室を利用して充実したものとなった。

特に、資料展示は、前２回の農学１号館の２階、３階に分散していたことから見て、充実した取り組みとなり、参加者からの評価も高かった。改めて、ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

また、午前１０時３０分開館、午前１１時～午後５時までの長時間の開催となったが、飼料用米の生産研究から物流、保管、消費に至る取り組みがよくわかったとの評価と併せて、長丁場での運営改善に意見が寄せられています。今後とも皆様のご指導ご鞭撻を今後への期待とご支持と考え、身を引き締めて活動を積み上げてまいりたいと思います。

シンポジウム会計報告は、事務局若狭より議案書に基づき報告します。

飼料用米普及のためのシンポジウム２０１６　会計報告

収入	協賛金	２００，０００円	
	飼料用米多収日本一からの分担金	１９８，４４４円	
	振興協会負担金	４７４，７５４円	
		８７３，１９８円	
支出	シンポジウム費用		
	会場費（東京大学）弥生講堂	１７６，０００円	
	配布講演資料（プリントパック）	１９８，８００円	
	講師謝礼	２２０，０２７円	
	展示会場看板等	１９４，９９２円	
	諸掛（紙皿、講師弁当、講師お茶代、受付交通費、懇親会充当費用）	８３，３７９円	（８７３，１９８円）
	差額	０円	

振興協会負担金として、４７４，７５４円を補てんした。
尚、農水省より後援名義を頂いているが、その際の会計処理は黒字にならないことを条件としており、特段の追加処理を行わずこのままの処理とした。

以上について、議長は審議を進め、意見を募ったが特に意見はなく、審議を終了し、採決を行った。
全員の賛成で議了した。

第Ⅱ議案　２０１６年度決算報告と承認の件（２０１６年４月１日～２０１７年３月末）

事務局より、議案書に基づき活動計算書、貸借対照表、財産目録について報告する。
決算は、吉野会計事務所（さいたま市桜区西堀２－１３－１０）による監査を受けた。５月１９日
本協会の岩野千草監事の監査を受けた。５月２２日

会計監査報告書

一般社団法人日本飼料用米振興協会
理事長　海老澤恵子　殿

平成 29 年 5 月 19 日
吉野会計事務所
税理士　吉野康幸　印

私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 199 条の規定に基づき、一般社団法人日本飼料用米振興協会の平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業年度の財務諸表の作成に係る会計帳簿、領収書等について会計監査を行った。
会計監査の基準は、財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることであり、わが国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。またこの会計監査には当該財務諸表の表示について検討し、助言することも含んでいる。
私は、上記財務諸表が、わが国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、一般社団法人日本飼料用米振興協会の当該財務諸表に係る会計期間の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

なお、一般社団法人日本飼料用米振興協会と私との間には利害関係はない。

監査報告書

一般社団法人　日本飼料用米振興協会
理事長　　海老澤　惠子　殿

第３期事業年度（２０１６年４月１日～２０１７年３月３１日）の事業報告、貸借対照表、活動計算書、財産目録及び附属明細書を２０１７年５月２２日に監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

以　上

２０１７年５月２２日
一般社団法人　日本飼料用米振興協会
監　事　　岩野　千草　　印

以下、帳票を再録した。

以上について、議長は審議を進め、意見を募ったが特に意見はなく、審議を終了し、採決を行った。
全員の賛成で議了した。

（1）　日本飼料用米振興協会　本体事業

2016年度　活動計算書（予算／決算対比）

2016年　4月　1日から2017年　3月31日まで

一般社団法人日本飼料用米振興協会
単位：円

科　　目	金　　額	
	予算（計画）	決算（実績）
Ⅰ　経常収益		
1　会費収入	950,000	842,000
2　入会金収入	200,000	100,000
3　協賛金	300,000	200,000
4　研究委託費		241,920
5　振替金		198,444
6　雑収入		0
7　受取利息		4
経常収益計	1,450,000	1,582,368
Ⅱ　経常費用		
旅費交通費	150,000	66,410
通信費	60,000	53,715
会議費（シンポ会場）	150,000	245,136
資料購入費	13,000	36,507
資料作成費	180,000	207,525
事務用品費	50,000	183,302
講師謝礼	150,000	220,027
租税公課	120,000	99,754
外注費	150,000	173,392
支払報酬	80,000	80,432
事務費	0	756

経常費用計	1,133,000	1,366,956
当期経常増減額		215,412
Ⅲ 経常外収益	0	
経常外収益計		0
Ⅳ 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		215,412
当期法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		215,412
前期繰越正味財産額		-195,219
次期繰越正味財産額		20,193

貸借対照表

2017年 3月31日現在

一般社団法人日本飼料用米振興協会

単位:円

科　　目	金　　額		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	773,607		
未収入金	0		
流動資産合計		773,607	
2 固定資産			
固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			773,607
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	743,261		
預り金	10,153		
流動負債合計		753,414	
2 固定負債			
固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			753,414

Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		△195,219	
当期正味財産増減額		215,412	
正味財産合計			
負債及び正味財産合計			20,193
			773,607

財 産 目 録

2017年年 3月31日現在

一般社団法人日本飼料用米振興協会

単位:円

科　　目	金　　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
普通預金(三菱 UFJ 銀行八王子支店)	773,607		
未収入金	0		
流動資産合計		773,607	
資産合計			773,607
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金			
交通費・事務用品費ほか	165,000		
シンポジウム立替金など	203,379		
シンポジウム講師謝礼など	110,000		
未払分(事務局)	264,882		
未払金合計	743,261		
預り金(源泉所得税)	10,153		
流動負債合計		753,414	
負債合計			753,414
正味財産			20,193

(2)　特別会計 飼料飼料用米多収日本一表彰事業

2016年度 活動計算書(予算／実績)

2016年 4月 1日から2017年 3月31日まで

一般社団法人日本飼料用米振興協会

単位:円

(1)収入の部

科　　目	2016年度実績	
	計画	実績
Ⅰ 経常収益		
繰越金(預金)	0	0
特別会計協賛金	2,300,000	2,800,000
金利	0	14
口座開設費	0	1,000
経常収益計	2,300,000	2,801,014

(2)支出の部

科目	2016年度実績	
	計画	実績
資料費	500,000	5400
会議費	26,900	65,144
広報費用	0	239,220
ホームページ管理費	0	100,000
旅費	1,201,350	617,156
褒賞経費	300,000	603,872
通信費	13,000	4,900
諸掛	0	5,832
調査費	150,000	0
予備費	108,750	0
支払い消費税	0	42,720
残高証明書(銀行)	0	756
合 計	2,300,000	1,684,244

繰越金		0
総収入		2,801,014
総支出		1,684,244
残 額		1,116,770
今年度繰越金		1,116,770

貸借対照表

平成29年(2017年) 3月31日現在

一般社団法人日本飼料用米振興協会

単位:円

科　　目	金　　額		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	1,212,420		
未収入金	0		

流動資産合計		1,212,420	
２ 固定資産			
固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,212,420
Ⅱ 負債の部			
１ 流動負債			
未払費用	47,974		
未払費用	47,676		
その他流動負債	0		
流動負債合計		95,650	
２ 固定負債			
固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			95,650
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		1,116,770	
正味財産合計			1,116,770
負債及び正味財産合計			1,212,420

財 産 目 録

平成28年(2017年) 3月31日現在

一般社団法人日本飼料用米振興協会

単位:円

科　　目	数量	金　　額		
Ⅰ 資産の部				
１ 流動資産				
普通預金(三菱 UFJ 銀行中野支店)		1,212,420		
未収入金		0		
流動資産合計			1,212,420	
資産合計				1,212,420
Ⅱ 負債の部				
１ 流動負債				
未払費用(交通費他)		95,650		
その他流動負債		0		
流動負債合計			95,650	
負債合計				95,650
正味財産				1,116,770

第Ⅲ議案　２０１７年度活動計画（２０１７年４月１日～２０１８年３月末）

１．　第２回目となる「平成２９年度　飼料用米多収日本一表彰事業」を開催する。
２．　法人化第４回目、通算１１回目となる「飼料用米普及のためのシンポジウム」を、今年に引き続き、「飼料用米多収日本一表彰式、飼料用米普及のためのシンポジウム２０１８」を次の要領で開催します。

開催日程：２０１８年３月９日（金）　（時間帯は、未定。朝９時から夕刻６時まで確保済み）
会　　場：東京大学　弥生講堂（一条ホール、ロビー、会議室）
テ ー マ：飼料用米の普及のために必要な方策を研究から利用の各分野で取り組みや成果を報告、
飼料用米利用による畜産事業の発展を目指しましょう。

３．　２０１７年も、引き続き、「飼料用多収獲米の栽培に関する研究」を全国農業協同組合連合会、東京農業大学農学部畜産学科畜産マネジメント教室、日本飼料湯米振興協会の三者で行います。

４．　今後の飼料用米、食用米、畜産の今後の動向を探り、飼料用米に対する提言を取りまとめ、新たな中期事業計画を策定する。

主要作物種子法廃止法が成立し、2018 年４月から実施される中で、今後の日本における食料自給率や将来の主要食物の貴重な資源を保護し、今後の改良開発に必要な方策を検討し、提言していく。

飼料用米の取り組みをさらに進めていくために　～日本飼料用米振興協会の提言として～

（１）　水田フル活用政策(特に飼料用米)の法制化
　①　飼料用米はわが国の食料安全保障の最大の要
　②　飼料用米は水田を水田として次代へ継承していく要
　③　水田(国土)と畜産を結びつける循環型畜産農業の要
（２）　飼料用米の新たな保管・流通体系の構築
（３）　飼料用米の多収栽培に向けた支援策の強化

現状　４８万トン	⇒	当面の目標　１１０万トン (輸入トウモロコシの１０%)	⇒	将来への目標　４５０万トン (輸入トウモロコシの４０%)

以上について、議長は審議を進め、意見を募ったが特に意見はなく、審議を終了し、採決を行った。
全員の賛成で議了した。

第Ⅳ議案　２０１７年度予算案の提案および審議

（1）会費収入計画

会員会費	事業体	1,180,000 円	
入会金	事業体	100,000 円	
協賛金		200,000 円	
研究受託費		240,000 円	
分担金		300,000 円	（日本一表彰事業）
概算収入見込み		2,020,000 円	

（2）特別会計　　飼料用米終了日本一表彰事業

繰越金	1,116,770 円
協賛金	2,800,000 円
概算収入見込み	3,916,770 円
総合計収入見込み	5,936,770 円

以下、帳票を再録。

以上について、議長は審議を進め、意見を募ったが特に意見はなく、審議を終了し、採決を行った。
全員の賛成で議了した。

（1）　日本飼料用米振興協会　本体事業

2017年度　活動計算書(予算)
2017年　4月　1日から2018年　3月31日まで

一般社団法人日本飼料用米振興協会
単位:円

科　　目	2016年度実績		2017年度計画	
	計画	実績	計画	実績
Ⅰ　経常収益				
1　会費収入	950,000	842,000	1,180,000	
2　入会金収入	200,000	100,000	100,000	
3　協賛金 1	300,000	200,000	200,000	
4　研究受託費		241,920	240,000	
5　振替金		198,444	300,000	
6　雑収入(金利)		0	0	
経常収益計		4		
	1,450,000	1,582,368	2,020,000	

Ⅱ　経常費用				
交通費	150,000	66,410	150,000	
通信費	60,000	53,715	60,000	
会議費	150,000	245,136	100,000	
資料(書籍)購入費		36,507	40,000	
資料作成費(印刷費)	13,000	207,525	220,000	
事務用品費	180,000	183,302	120,000	
講師謝金	50,000	220,027	200,000	
租税公課	150,000	99,754	120,000	
外注費	120,000	173,392	300,000	
会計事務所監査費用	150,000	80,432	80,432	
事務費(振込費用)	80,000	756	756	
予備費	0	1,366,956	30,000	
経常費用計	1,133,000	215,412	1,421,188	
当期経常増減額			598,812	
Ⅲ　経常外収益	0	0	0	
経常外収益計		0	0	
Ⅳ　経常外費用				
経常外費用計		0	0	
税引前当期正味財産増減額		0	0	
当期法人税、住民税及び事業税			0	
当期正味財産増減額		215,412	598,812	
前期繰越正味財産額		-195,219	20,193	
次期繰越正味財産額		20,193	619,005	

(2)　特別会計　飼料用米多収日本一表彰事業

2017年度　活動計算書(予算)

2017年　4月　1日から2018年　3月31日まで

一般社団法人日本飼料用米振興協会
単位:円

(1)収入の部

科　　目	2016年度実績		2017年度計画	
	計画	実績	計画	実績

Ⅰ　経常収益				
繰越金(預金)	0	0	1,116,770	
特別会計協賛金	2,300,000	2,800,000	2,800,000	
金利	0	14		
口座開設費	0	1,000		
経常収益計	2,300,000	2,801,014	3,916,770	

(2)支出の部

科目	2016年度実績		2017年度計画	
	計画	実績	計画	
資料費	500,000	5400	20,000	
会議費	26,900	65,144	93,000	
広報費用	0	239,220	500,000	
ホームページ管理費	0	100,000	100,000	
旅費	1,201,350	614,628	918,000	
褒賞経費	300,000	603,872	633,000	
通信費	13,000	4,900	10,000	
諸掛	0	5,832	0	
調査費	150,000	0	0	
予備費	108,750	0	0	
支払い消費税	0	42,720	50,000	
残高証明書(銀行)	0	756	0	
合　計	2,300,000	1,684,244	2,324,000	

繰越金		0	1,116,770	
総収入		2,801,014	3,916,770	
総支出		1,684,244	2,324,000	
残　額		1,116,770	1,592,770	
今年度繰越金		1,116,770	1,592,770	

第Ⅴ議案　今回は、特段の問題がないため、定款に基づき（2 年毎）、役員の交代補充は行いません。

以上について、議長は審議を進め、意見を募ったが特に意見はなく、審議を終了し、採決を行った。
全員の賛成で議了した。

第Ⅵ議案　新規会員の拡大の推進

引き続き、２０１７年度　新規会員の開拓を推進する
ヤンマーアグリジャパン株式会社（２０１６年度第１２回理事会で加入を決定）

以上について、議長は審議を進め、意見を募ったが特に意見はなく、審議を終了し、採決を行った。
全員の賛成で議了した。

議長の海老澤惠子理事長は、全ての議事を終了し、閉会の宣言した。

２０１７年5月２２日

議事録を作成し、以下、理事、監事が捺印する。

理事長	海老澤　惠子
副理事長	加藤　好一
理事	木村　友二郎
理事	信岡　誠治
理事	遠藤　雄士
理事	谷井　勇二
理事・事務局長	若狭　良治
監事	岩野　千草